

## 事業実績書

団体名	吉敷地区地域づくり協議会
-----	--------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

吉敷地域のテーマである「笑顔あふれるふれあいのまち」の実現に向け、地域づくり関係団体の組織強化を図りながら、地域課題の解決のための事業を実施していきます。  
 平成29年度は、「地域福祉活動計画」と一体的に「地域づくり活動計画」を策定することから、地域住民や地域づくり関係団体とともに、様々な手法で地域課題を把握しながら、これらの解決に取り組んでいきます。  
 また、これからの地域づくりを担う人材を広く発掘するため「人材発掘に向けた交流事業」を実施して、多くの地域住民の参加が得られる事業の組み立てにつなげていきます。

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	地域課題の把握と解決の仕組みづくり		
	事業名	地域づくり計画・地域福祉活動計画策定	決算額	249,141円
②	視点	文化に着目した地域づくりの推進		
	事業名	ふるさと伝承事業	決算額	1,221,000円
③	視点	地域づくりを担う人材の発掘		
	事業名	人材発掘に向けた交流事業	決算額	199,089円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
<p>①一体的に策定している「第1次地域づくり計画・第2次地域福祉活動計画」の計画期間が今年度で終了することから、引き続き、平成30年度からの新たなまちづくりの方向性を位置づける「吉敷まちづくり計画(第2次地域づくり計画・第3次地域福祉活動計画)」を策定しました。                      計画の策定にあたり、地域で活動する団体からのヒヤリング等を実施するとともに、住民座談会を3回、団体座談会を5回開催しました。住民座談会では、地域の課題や困りごとなどを出していただき、団体座談会では、住民座談会で出された課題等を解決するための取り組みを話し合いました。                      今後は、地域住民に広く計画を周知しながら、計画に基づき地域課題の解決に取り組んでいきます。また、まちづくりに関する活動は幅広い分野にわたり、関係する団体も多いことから、地域づくり協議会及び地区社会福祉協議会が総合的な調整を行っていきます。</p>	○
<p>②多くの方々に吉敷地域を散策して自然や文化の魅力を再認識・再発見していただくため、地域散策ガイドブック「吉敷さんぼ」を活用して、地域の歴史を学ぶ地域散策講座や郷土学習講座などを開催しました。                      大内氏の外交ルートであった道場門前から吉敷を経て肥中浦に至る「肥中街道」を散策するバスツアーを開催したところ、定員を大きく上回る申し込みがあるなど好評を得ました。                      吉敷地域に所在した「野村家」の古文書を教材とした「古文書読書会」を開催するとともに、地域散策ガイドブック「吉敷さんぼ」巻末添付の「散策マップ」を、地域交流センター周辺地に案内看板として拡大設置することを検討しました。                      引き続き、より多くの地域住民の参加が得られる地域散策講座や郷土学習講座、歴史等散策ツアーの開催などに取り組めます。</p>	◎
<p>③地域づくりを担う人材等を広く発掘するため、地域づくり協議会と地域交流センターが共催により取り組んでいる交流事業は、対象を「アクティブエイジ」と「若者」に分けて企画から連携しながら進めました。                      アクティブエイジの交流については、多くの住民を巻き込む具体的な事業の組み立てには至っていませんが、若者の交流については、地域の耕作放棄地等を活用して、現役世代親子の参加を募り農業を体験しながら住民どうしの交流を促進する場を創出する企画について協議・検討を進め、平成30年度からの実施に向けた準備を進めています。</p>	△

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

今年度は第1次地域づくり計画が終了することから、地域住民や地域づくり関係団体とともに、様々な手法で地域課題を把握しながら、平成30年度からの新たなまちづくりの方向性を位置づける「吉敷まちづくり計画(第2次地域づくり計画・第3次地域福祉活動計画)」を策定しました。

吉敷地域の課題であった地域情報の発信については、地域住民と地域づくり関係団体等からの参画を得て新たに広報委員会を設立し、地域の情報の収集や発信に努めながら2年が経過しました。この間、地域広報紙やウェブサイトの実践に取り組むとともに、町内会・自治会未加入者にも広報紙を手にとりいただけるよう配布先の拡大などにも取り組みました。地域住民からは一定の評価が得られるとともに、今年度の山口県公民館報コンクールでは最高賞となる会長賞を受賞しました。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	9,025,924円(交付金5,305,072円)
事務局の運営体制	<p>(事務員等の雇用人数) 事務局長1名 事務員4名</p> <p>(運営費の主な内容) 事務局人件費、事務費</p> <p>(成果・評価) 毎年、事務局員の交代が多く、5人での運営が難しい時期が度々ありました。特に、吉敷地域は、地域づくり協議会業務をはじめ、自治会業務、地区社協業務、地区社協が受託する指定管理業務、地域交流センター地域担当窓口業務補助を5人体制で担っており、多岐にわたる業務をそれぞれが担当を決め分担していますが、前述の理由のため事務局員は慌ただしい時期を過ごすこともありました。その都度、地域づくり協議会役員や地域交流センターと運営や業務について意見交換を行いました。日頃から地域交流センターと連携して業務を進めており、地域交流センターからも一定の事務局の運営支援は得られています。</p> <p>(今後に向けて) 地域づくり活動や地域福祉活動支援など、多様な業務に事務局長1名、事務局員4名体制で対応していくため、効率的な業務の遂行に向けた業務の棲み分けや、事務分担の見直しなどに取り組むことが必要であり、地域づくり関係団体や地域交流センターとの連携が重要です。年々業務が増えていることから、事務局の負担を軽減するため、引き続き、地域づくり協議会役員や地域づくり関係団体、地域交流センター等と協議しながら、事務局運営を行っていきます。</p>

(2) 地域振興

事業名	ふれあいあいさつ運動
事業費	14,864円(交付金14,864円)
事業概要	<p>(実施内容) 吉敷ふるさとまつりにおいて応募のあった標語の中から、選出された作品を地域広報紙に掲載するなど、ふれあいあいさつ運動を推進しました。毎月の鴻南中学校区地域協育ネット「あいさつの日」に合わせて、吉敷地域では登校時間帯の立哨に取り組みました。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 2,000人</p> <p>(成果) 吉敷ふるさとまつりで「ふれあい標語」を募集し、地域広報紙「ふるさとだより よしき」で紹介するなど、ふれあいあいさつ運動に取り組みました。</p> <p>(評価) 年間を通して、ふれあいあいさつ運動に取り組むことができました。吉敷地域の取り組みである「あいさつの日」の立哨が十分地域に知られていません。</p> <p>(今後に向けて) 引き続き、吉敷地域の見守り活動やふれあいあいさつ運動を総合的に推進する「(仮称)ふれあいネットワーク協議会」の設立に向けた協議を進めていきます。</p>

事業名	地域情報発信事業
事業費	248,894円(交付金248,894円)
事業概要	<p>(実施内容) 地域づくり協議会活動や、地域の様々な情報などを紹介するウェブサイトの充実を図りました。交通安全・防犯対策協議会による下校時に合わせた青パト活動情報をメールで配信するなど、良城小学校などと連携しながら、セーフティネットワークによる子どもたちの見守り活動を実施しました。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 650人</p> <p>(成果) 再構築したウェブサイトにも、様々な地域情報を掲載しています。セーフティネットワークを活用して、地域で子どもたちの見守りに取り組みました。</p> <p>(評価) ウェブサイトやメール配信による情報発信に取り組み、一定の評価は得られていると考えていますが、これらのさらなる活用のために引き続き検討していく必要があります。</p> <p>(今後に向けて) ウェブサイトの充実などと合わせて、セーフティネット協議会がメール配信のみの活動となっているため、組織のあり方も含めて再構築に取り組んでいきます。</p>

事業名	成人式思い出づくり
事業費	176,500円(交付金176,500円)
事業概要	<p>(実施内容) 成人式の記念写真を装飾し、地域の新成人をお祝いしました。</p> <p>(実施時期) 1月～2月</p> <p>(参加人数) 100人</p> <p>(成果) 新成人やその家族にも喜んでいただき、よい記念になりました。</p> <p>(評価) 事業が地域に浸透し、新成人の家族からは楽しみにされているという意見もあります。</p> <p>(今後に向けて) この事業は、事業効果や優先順位等を考慮して今年度をもって廃止することとし、今後は自治会が引き継いで実施します。</p>

事業名	地域づくり計画・地域福祉活動計画策定
事業費	249,141円(交付金249,141円)
事業概要	<p>(実施内容) 計画の策定にあたり、地域で活動する団体からのヒヤリング等を実施するとともに、住民座談会を3回、団体座談会を5回開催しました。住民座談会では、地域の課題や困りごとなどを出していただき、団体座談会では、住民座談会で出された課題等を解決するための取り組みを話し合いました。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 530人</p> <p>(成果) 第2次地域づくり計画及び第3次地域福祉活動計画の一体的な計画として、平成30年度から5年間のまちづくりの方向性を位置づける「吉敷まちづくり計画」を策定しました。</p> <p>(評価) 地域の課題や困りごとを把握するとともに、これらを解決するための取り組みを話し合うため、ヒヤリングや座談会など開催し、多くの地域住民の参画を得ることができました。</p> <p>(今後に向けて) まちづくりの主役である地域住民にとってより身近で、計画を地域全体で共有していくため、町内会・自治会やまちづくり関係団体へ計画書を配布するとともに、地域住民へ計画書の概要版を配布します。地域広報紙やウェブサイトなども活用しながら、計画を広く普及・啓発していきます。</p>

事業名	人材発掘に向けた交流事業
事業費	199,089円(交付金199,089円)
事業概要	<p>(実施内容) 地域の人材発掘のため地域交流センターと共催で実施する交流事業について、今年度は地域づくり協議会はアクティブエイジを対象に、地域交流センターは若者を対象にそれぞれ担当しました。若者対象の事業は、具体的な取り組みについて協議が進みました。 吉敷出身のプロサッカー選手である原川力選手の帰山に合わせて、子ども達との交流として「こどもドリームプロジェクト吉敷～Jリーガー原川力選手によるサッカー教室～」を開催しました。</p> <p>(実施時期) 通年、12月</p> <p>(参加人数) 200人</p> <p>(成果) 3年前から実施してきた交流事業は、昨年度から地域づくり協議会と地域交流センターがそれぞれ担当を持つことになり、今年度の具体的な成果はありませんが、平成30年度からの新たな取り組みについて協議が進みました。プロスポーツ選手と子ども達との交流は、企画の段階から地域住民の参画が得られるとともに、サッカー教室当日もスポーツ少年団や中学校サッカー部員など多くの参加があり盛況でした。</p> <p>(評価) 地域づくりを進めていくには、新たな人材を知ることが重要であり、そのきっかけとなる交流事業は地域づくりの中心的な事業の一つです。アクティブエイジの交流については、多くの住民を巻き込む具体的な事業の組み立てには至っていませんが、若者の交流については、地域の耕作放棄地等を活用して、現役世代親子の参加を募り農業を体験しながら住民どうしの交流を促進する場を創出する企画について協議・検討を進め、平成30年度からの実施に向けた準備を進めるなど、一定の進捗がみられます。</p> <p>(今後に向けて) 引き続き地域交流センターと連携しながら、具体的な事業化を進めていきます。</p>

### (3) 地域福祉

事業名	ふれあいスポーツ交流事業
事業費	298,871円(交付金197,336円)
事業概要	<p>(実施内容) 3年ぶりの開催となった大運動会は1,000人もの参加のもと開催しました。親睦やふれあいを目的とした地区親睦ゴルフ大会や多世代交流グラウンドゴルフ大会を開催しました。</p> <p>(実施時期) 4月・11月・3月</p> <p>(参加人数) 1,150人</p> <p>(成果) 大運動会は、体育振興会を中心に年齢層を考慮した種目の検討を行うなど、地域住民が参加しやすい大会運営に努めました。親睦ゴルフ大会は、実行委員会が中心となり呼びかけを行うなど、新しい参加者の顔も見えるようになっていきます。グラウンドゴルフ大会は、大人と子どもがチームを組む地域独自のルールで楽しみながらプレイすることで、多世代間の交流が深まりました。</p> <p>(評価) 誰もが参加しやすい種目を取り入れた大運動会やグラウンドゴルフなどを開催することにより、新たな参加者も得られています。</p> <p>(今後に向けて) 引き続き、多くの地域住民が参加しやすい事業となるよう、次年度に向けて準備を進めていきます。</p>

(4)安心・安全

事業名	自主防災組織づくり
事業費	80,000円(交付金80,000円)
事業概要	<p>(実施内容) 防災検討委員会・地区防災会により、昨年実施した図上訓練に基づき、現地確認を実施しました。3月には自主防災組織の立ち上げに向けた講演会を開催しました。吉敷ふるさとまつりの会場において、防災グッズの展示や災害時の写真掲示などによる防災啓発に努めました。</p> <p>(実施時期) 8月・3月</p> <p>(参加人数) 80人</p> <p>(成果) 防災検討委員会・地区防災会から選出した広報委員により、地域住民に対して活動内容をウェブサイトで紹介しており、自主防災組織等の必要性を伝えてきました。防災検討委員会の内部組織として、防災士を中心に会の運営や進行管理を担う「幹事会」を設置して、地域防災事業の推進に努めてきました。</p> <p>(評価) 地域住民に対して防災意識の高揚や防災知識の普及・啓発などを行うとともに、図上訓練に基づく現地確認を実施したことは、一定の事業推進ができました。</p> <p>(今後に向けて) 引き続き、地域防災体制を充実していくため、平成30年度には防災検討委員会と地区防災会の組織統合を進めていくこととしています。</p>

(5)環境づくり

事業名	カーブミラーの充実
事業費	217,000円(交付金217,000円)
事業概要	<p>(実施内容) 5箇所のカーブミラーの新設・補修に対して補助しました。</p> <p>(実施時期) 7月・1月・3月</p> <p>(参加人数) 15人</p> <p>(成果) 町内会・自治会からの要望に基づき交通安全対策を実施しました。</p> <p>(評価) 反射鏡の設置により交通事故防止に寄与しました。</p> <p>(今後に向けて) 引き続き、町内会・自治会を通して地域住民に補助制度を周知しながら、地域の交通安全対策を進めていきます。</p>

事業名	交通安全施設の充実
事業費	100,000円(交付金100,000円)
事業概要	<p>(実施内容) 1件の交通安全施設の新設に対して補助しました。</p> <p>(実施時期) 3月</p> <p>(参加人数) 15人</p> <p>(成果) 町内会・自治会からの要望に基づき交通安全対策を実施しました。</p> <p>(評価) 路面表示により交通事故防止に寄与しました。</p> <p>(今後に向けて) 引き続き、町内会・自治会を通して地域住民に補助制度を周知しながら、地域の交通安全対策を進めていきます。</p>

事業名	ホタルが飛び交うふるさと吉敷
事業費	140,318円(交付金87,963円)
事業概要	<p>(実施内容) 学校、地域、行政の連携により、5月には河川清掃、6月にはホタル採取を行い、9月には良城小学生のホタルに関するポスターや標語作品の表彰とホタルの飼育状況の発表といった式典、3ヶ月間良城小学校で飼育したホタルの放流を行いました。</p> <p>(実施時期) 5月～9月</p> <p>(参加人数) 700人</p> <p>(成果) 毎年の活動によりたくさんのホタルが飛び交っています。来年度も、ふるさとの川にたくさんのホタルの乱舞が期待できます。</p> <p>(評価) 地域は学校・子ども・ホタルのために参加し、学校は地域づくりの一翼を担うため開かれた学校を目指し、子どもたちは環境意識を高め、それぞれがふるさとへの愛着と命の尊さを学ぶことができ、改めて有意義な事業だと考えています。</p> <p>(今後に向けて) 引き続き、小学校との連携を強化し、美しい環境づくりを目指します。</p>

#### (6) 地域個性創出

事業名	コミュニティ活性化事業
事業費	850,953円(交付金653,837円)
事業概要	<p>(実施内容) 夏祭り、秋祭りの開催</p> <p>(実施時期) よしき夏まつり8/13、吉敷ふるさとまつり11/12</p> <p>(参加人数) 延べ3,000人</p> <p>(成果) 若者を中心とする新たな実行委員も3年目となり、企画から準備など円滑な運営ができました。新しいアイデアが出されるなど、吉敷の祭りに新たな風を入れることができました。</p> <p>(評価) 新たな企画により、多くの参加者とのふれあい、交流が図られるとともに、新たな実行委員を中心とした運営を進めるための基盤づくりが図られました。</p> <p>(今後に向けて) 新たな委員による実行委員会を継続するため、事務局との役割分担等を検討するとともに、楽しく関われる会にするには実行委員どうしの交流も必要です。</p>

事業名	ふるさと伝承事業
事業費	1,221,000円(交付金945,000円)
事業概要	<p>(実施内容) 今年度新たに、文化による地域づくりを推進するため「文化振興協議会」を設置するとともに、地域散策ガイドブック「吉敷さんぼ」を活用した地域散策講座や郷土学習講座の開催、地域散策広域連携事業、古文書読書会、地域散策マップや史跡案内看板の設置などに取り組みました。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 100人</p> <p>(成果) 肥中街道散策バスツアーには、定員を大きく上回る申し込みがあり好評を得ました。昨年に引き続き、吉敷地域に残る「野村家」の古文書を教材とした「古文書読書会」を開催しました。多くの方に吉敷地域を知り、散策していただくため、地域散策ガイドブック「吉敷さんぼ」の巻末に添付しているマップを看板として拡大設置するデザインを検討しました。</p> <p>(評価) 肥中街道散策バスツアーには、定員を大きく上回る申し込みがあり好評を得ました。地域散策講座や郷土学習講座は、参加者が少ないため、今後、地域住民に対する周知のあり方や講座の内容について協議・検討を行う必要があります。</p> <p>(今後に向けて) 引き続き、多くの地域住民の参加が得られる地域散策講座や郷土学習講座、歴史等散策ツアーの開催などに取り組みます。平成30年度には吉敷地域を散策するためのウォーキングコースを設定できるよう、協議・検討を始めていきます。</p>

事業名	広報活動
事業費	479,006円(交付金479,006円)
事業概要	<p>(実施内容) 地域づくり関係団体や地域住民等の参画を得て新たに設置した「広報委員会」により、地域住民に対して発信していきたいことや、お知らせしたいことなどを互いに持ち寄り、広報紙やウェブサイトなどを活用して、地域の様々な情報を発信しました。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 20人</p> <p>(成果) 地域情報を広く収集しながら、魅力ある広報紙の作成やウェブサイトの充実に取り組みました。新たな広報委員も広く地域住民から募集するなど、地域に開かれた広報委員会運営に努めてきました。今年度、県公民館報コンクールにおいて最高賞となる会長賞を受賞し、手に取って読みたくなる表紙や特別企画、団体・人物の紹介、編集後記など、「地域とつながる」内容が高く評価されました。</p> <p>(評価) 今年度、新たにふるさと祭りの会場において広報紙アンケートを実施したところ、認知度はかなり高く、紙面も概ね読みやすいと一定の評価を得ました。</p> <p>(今後に向けて) 引き続き、紙面やの充実や配布の拡大等に取り組んでいきます。</p>

事業名	各種団体支援事業①
事業費	439,750円(交付金60,000円)
事業概要	<p>(実施内容) 地区内活動団体への支援事業</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 延べ1,600人</p> <p>(成果) 地域内で活動する地域づくり協議会に関係する団体へ支援することにより、一体となった事業の推進を図ることができました。</p> <p>(評価) 活動団体においては、事業の充実が図られ、地域づくり協議会との一体感が持たれたとともに、地域課題の解決に向けた取り組みが活発になりました。</p> <p>(今後に向けて) 地域課題の解決のため、また、各種団体の円滑な事業運営のため、事業支援を継続することで一体となって地域づくり事業を進めることが必要です。</p>

事業名	各種団体支援事業②
事業費	868,000円(交付金808,000円)
事業概要	<p>(実施内容) 各対策協議会への支援事業</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 延べ840人</p> <p>(成果) それぞれの協議会の活動に加え、地域課題の解決のために、地域づくり協議会と一体となった活動へ支援しました。</p> <p>(評価) それぞれの協議会の活動内容と地域課題の解決に向けた事業の推進を図ることができました。</p> <p>(今後に向けて) 地域課題の解決のため、また、各種団体の円滑な事業運営のため、事業支援を継続することで、一体となって地域づくり事業を進めることが必要です。</p>

事業名	旧出張所・公民館跡地利用
事業費	0円(交付金0円)
事業概要	<p>(実施内容) 平成26年度に開催した「やまぐち車座トーク21」を踏まえ、平成27年度に設置した特別委員会において引き続き跡地の活用について協議することとしており、山口中央農協の組織再編の動向を注視しながら情報の収集を行いました。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 地区住民</p> <p>(成果) 吉敷地域の玄関口であり、顔でもある跡地の活用について検討を進めることとしていますが、山口中央農協の組織再編の動向も注視する必要があるため、具体的に協議を進めることができませんでした。</p> <p>(評価) 山口中央農協の組織再編の動向を注視しながら情報収集を行っているため、協議を進めることができませんでした。</p> <p>(今後に向けて) 山口中央農協の組織再編の動向も注視しながら、引き続き跡地の活用について協議を進めていきます。</p>

事業名	観劇鑑賞交流事業
事業費	65,000円(交付金65,000円)
事業概要	<p>(実施内容) 子どもステーションとの共催で、地域住民に肌で感じる距離での観劇鑑賞の機会を提供しました。</p> <p>(実施時期) 7月</p> <p>(参加人数) 延べ170人</p> <p>(成果) 気軽に参加できる観劇鑑賞を地域の中で開催することで、地域住民どうしで新たな交流も生まれています。</p> <p>(評価) 子どもステーションと地域づくり協議会の共催ということで、スタッフどうしの打ち合わせなどを通じて、事業運営のノウハウ等について学ぶ機会となっています。毎年楽しみにしている方もおられ、地域住民どうし、さらには演劇側の皆さんとの交流も楽しみました。</p> <p>(今後に向けて) 地域の中において観劇鑑賞の機会を提供することで、一部で地域住民の交流は生まれていますが、事業効果や優先順位等を考慮し、この事業は今年度をもって廃止することとしました。</p>